

日本海ケーブルネットワーク株式会社

(以下「NCN という」)

2009年春期放送番組審議会議事録

- ・開催日時：2009年2月19日(木曜日)13:30から15:30
- ・開催場所：鳥取市富安2丁目137番地

日本海新聞本社ビル6階会議室

- ・出席審議委員数：9名
山内 益夫(会長)
見生 義明
山中 英雄
鈴木 みどり
沖 時枝
長田 司
松浦 弘幸
岡本 保夫
富長 一郎 (順不同 敬称略)

議案

審議事項・・・NCN制作番組に関する意見交換

(審議前に下記の番組VTRを視聴)

新春特別番組「まるかじり!2009」および年末年始の特別番組について

鳥取県ケーブルテレビ協議会の取り組みについて

- ・韓国江原道ケーブルテレビ協議会との番組交換

その他の連携について

- ・NCNと鳥取中央有線放送の共同制作番組

「めぐって発見!八橋(やばせ)往来」

- ・継ぐプロジェクトCATV連絡会

(NCN、ZTV滋賀支社近江八幡支局、倉敷ケーブルテレビ、高岡ケーブルネットワーク)共同制作番組

「全国各地の伝建地区紹介」

今後の自主番組について

審議の要旨概要

(以下 印・・・審議委員からの意見、 印・・・NCNからの回答)

<2009年新春まるかじり番組について>

年末年始の家族団らん映像などを所々入れると和やかになる。

帰省する家族の風景などもあれば。

プレゼント企画はよかった。

中部の焼き窯も利用して番組内で茶道の部分に入れてはどうか。

ありがとう企画はいいと思う。新春のみにせず、通常でも制作してほしい。

自主放送番組は市民参加型なので、多くの市民がテレビに映るように、風物詩である祭りなどの番組をしてほしい。取材に来ているのを見ると、自分が映っているか気になるし近所や友人にも話ができる。地元の話作りとなりコミュニケーションがとれる

普段言葉にならない「ありがとう」を番組として見るのはいい。

韓国のお正月料理を見たが、他の地域や国の文化を見るのもいい。

正月番組や保育園番組など、和む番組はいい。

番組内のインタビューで、正しい日本語をしゃべらない人が多くなっている。番組制作する時は、その部分も注意してほしい。

<鳥取県ケーブルテレビ協議会の取り組みについて>

外国の番組を放送して、お互いの文化を知ることはいいいことだが、近隣の県へ取り組みはどうなっているか？鳥取から外へは取材に行っているが、外へ番組を放送できるように交流してほしい。特に県境跨いで交流は、活発に行ってほしい。地域を広げるのにマスコミの力を出してほしい。

江原道との取り組みは、韓流ブームもあっていい試みだと思う。近所の人や友人にも声をかけたいが、「何時放送するのか」「内容はどうか」など新聞のテレビ欄に分かりやすくコメントを掲載してほしい。

新聞のテレビ面（最後のページ）で民放と一緒に閲覧できるようにしてほしい。

携帯電話でもNCNの番組紹介があればいい。

韓国の放送や保育園などの放送日程が分かれば、事前に関係各所に連絡できる。

他の国の方もどんどん取り扱ってほしい。

倉吉にも韓国の交流員がいて広報などでコーナーを作っているが、定期的にNCNでコーナーとして放送してほしい。

<その他>

新日本海新聞社と日本海ケーブルテレビでメディア連携を推進しているが、提案をお願いしたい。

NCNはスタッフが少ないので大変。新聞社と協力し、販売店の通信員などと協力してきめ細かい取材をしてほしい。

各公民館やサークルなどの情報を新聞社の販売店などと連携して取材をしてほしい。

ビデオ作成をする勉強会などに参加された方に協力を要請してはどうか。

各総合支所から持ち回りの公民館で対応をされてはどうか。

各学校の昼にでもテレビ放送を流したりしながら、放送から活字へ、活字から放送へと促す方法もある。

番組がいつ放送するのかが分かりにくい。取材時に何時放送するかをもっと事前にPRしてほしい。

日本海新聞に1週間分の番組内容をまとめて掲載している。取材時に分かるものは事前にいつ放送されるかを伝えるようにしている。

いつまでも息を抜けるチャンネルであってほしい。

新聞もケーブルテレビも地域に必要な媒体。今後も地域密着した情報を提供してほしい。

地上デジタル放送が開始されたが、年配者の方は分からない方が多い。その対応もお願いしたい。

山間部で孤立している集落については、ケーブルテレビができて助かっている。

高齢者の方は、時代劇チャンネルを1日中見ている。自主放送でも、高齢者向けの番組も制作して時間編成もしてほしい。

エリア内を中心とした路線バスの旅や源流を探するなど、地域の古い歴史なども振り返りながら皆さんに情報を提供してほしい。

以上